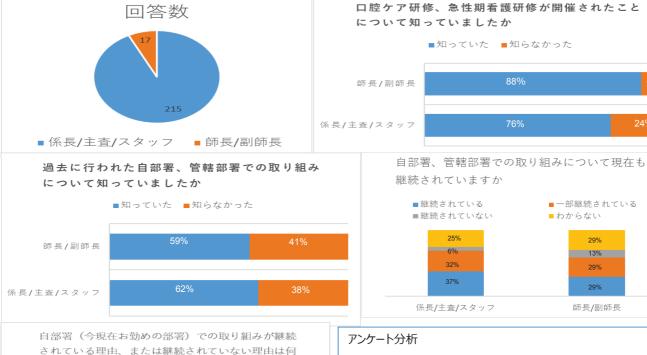
# **News** Letter

Vol.18 2022.3

担当:黒松

## 研修評価アンケート結果集計

「口腔ケア研修(2016 年度)(2017 年度)」「急性期看護ケア研修」に対す評価 皆様アンケートにご協力ありがとうございました。



### 看護ケア推進委員会 新メンバーをご紹介します。

だと思いますか。(係長/主査/スタッフ)

62%

- ・師長/副師長、係長/主査/スタッフに対しアンケートを行ったが2群間 で大きな認識の差はみられなかった。
- ・肯定的な意見がある一方で、取り組みを「知らない」「必要性がない」 等の否定的な回答があった。取り組みを知らなった理由として「異動し た」が一番多かった。
- ・スケール等のツールを用いた取り組みは継続されている傾向にある。た だし使用されているがアップデートされていないものもある。
- ・取り組みをした翌年は部署や委員会からサポートがなく、自己に任さ れるので途絶えやすく、発展もしないのではないか。サポート体制の検 討が必要。個人ではなくグループで取り組めるような体制を検討する必 要があり、例えば研修翌年の自部署の目標に組み込んでもらう等。

みきと 伊丹 さんです。 摂食・嚥下障害看護認定看護師

■必要性を感じない

■マンパワー

その他

■患者の看難に活かされていると感じる ■患者の看護に活かされていると感じない

■業務都合上取り入れにくい

■より良いものが採用されている

摂食嚥下障害をきたす原因となる疾患は様々ですが、主な原因として加齢があります。超高齢社会の進行とともに 摂食嚥下障害が大きな問題となっています。摂食・嚥下障害看護認定看護師は、摂食嚥下機能の評価やそれに見合っ た介入、食事内容および食事摂取方法の判断、口腔ケアの実践などを通し、誤嚥性肺炎・窒息・低栄養・脱水などの 予防や改善を行います。また、口から食べることは栄養摂取の目的だけでなく、生きる楽しみや喜びに繋がり、患者 さんの QOL に大きく関わっています。一人でも多くの患者さんが安全に、少しでも長く食べ続けられるよう支援し ていきたいと考えています。まだまだ未熟ですが、看護ケアの質の向上に向け尽力していきますので、よろしくお願 いします。

#### 主な活動

• 相談 • 指導 • 実践

摂食嚥下機能の評価・嚥下訓練、食事介助および口腔ケアの方法

- 食事形態の選択、窒息・誤嚥・低栄養および脱水の予防 ・嚥下のメカニズムや嚥下機能評価・食事介助の方法、口腔ケアなどに関する研修 ・栄養サポートチーム活動、他のチームとの連携、他職種との連携

この患者さんは食べることができるの? 最適な食事形態は? とろみの濃度はどのくらい? 食事が食べれていない!栄養状態が改善しない!など 嚥下や食事、栄養に関することはご相談ください!

